



薬学部
同窓会長
桂 正俊

薬学部

薬学部同窓会は6,500名を超える会員が全国各地で活躍しております。現在同窓会の活動は、主にwebを利用した医療薬学セミナーや将来ビジョン講座などを薬剤師支援センターと共催で行っております。また、同窓会準会員である在学生に対して、薬剤師国家試験対策講習会の追加や国家試験に向けての勉強が本格化する5年生に対して6年生の講義でも用いる薬剤師国家試験参考書(薬学ゼミナール発行の青本)の補助など様々な支援を行っております。また、昨年度5年ぶりに卒業生・在学生合同懇談会を開催し、卒業後の進路相談をはじめ就職後に必要なスキルを若い先輩からの助言を受ける機会を設けることができました。

一方、全国17支部(道内7、道外10)と医療薬学セミナーやその地域での薬業や医療に関する情報交換を行っているところです。昨年度は全国の会員を対象とした拡大研修

〈創立年:1979年 会員数:6,765名〉

会及び埼玉県さいたま市で開催された第57回日本薬剤師会学術講演会に合わせて同窓会の懇親会を開催することができました。また、昨年は本学主催の「医療職体験レジン」への支援を行い、札幌駅前地下歩行空間や紀伊國屋書店札幌支店そして函館萬屋書店など薬剤師の仕事を通民に伝えるブースを設置しました。

薬学部同窓会は会員数の増加により、道内支部の細分化と道外の卒業生が減少していることから本州支部の統合やブロック化を含めて現在進めております。

■ <https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~phalumni/>
■ yaku-dousoukai@hoku-iryo-u.ac.jp



歯学部
同窓会長
裴輪 隆宏

歯学部

平素は歯学部同窓会活動に際し、深いご理解と多大なご協力誠にありがとうございます。お陰様で本会は昨春秋、設立40周年の節目を迎えることが出来ました。加えて、41期生が社会に羽ばたき47期生を母校に準会員として迎えることが出来たこと、大変嬉しく存じます。

1984(昭和59)年、108名で産声を上げた本会も今では全国に26の支部が存在し、3,600名以上の卒業生が各地域、各分野でご活躍するまでにりました。

歯学部同窓会本部の活動としては、会誌の発行、ホームページ、メーリングリストでの情報の共有、各支部の会員の皆様との親睦そして学術向上を兼ねた歯科臨床セミナーの開催、学生への応援講義、学生海外短期研修の金銭的補助、補講補習の補助、国家試験の応援、若手教職員への同窓会賞授与、さらには今年は学生の学外実習の受け入れの再開、学生、研修医のヤングフェスタの開催など多岐にわたっております。また全国各支

〈創立年:1984年 会員数:3,382名〉

部ごとに独自の活動を続けています。

母校においては、次の50年を見据え、ボールパークFビレッジにキャンパス移転という大決断を下したことは、同窓会としてとても価値あることと認識しております。そして、この決断が正しかったと明言出来るためには卒業生一人ひとりが日々、本来の目的に則った活動をしつつ成果を積み重ね、有形無形にかかわらず、物心共に協力が必要であります。本会もその核の一つとなって努力して参る決意でございます。関係各位の皆様におかれまして今まで以上のご支援、ご助言を頂ければ幸いです。皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

■ <http://www.hoku-iryo-u.com/> ■ dousoukai-honbu@clock.ocn.ne.jp
■ 事務局 札幌市北区北6条西6丁目2-11 第3山崎ビル4F
TEL 011-299-9069 FAX 011-299-9609



看護学科
同窓会長
川村 武昭

看護福祉学部／看護学科・札幌医療福祉専門学校／看護学科

平素より同窓会活動については、格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。おかげさまで本会の活動も令和9年(2027年)で30周年を迎える運びとなりました。偏に日頃から御尽力をいただいている同窓生の皆様をはじめ、各学部学科の同窓会役員の皆様、そして大学関係者の皆様の協力の賜です。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

さて、今年度は大学創立50周年を迎えられたとともに、同窓会の大先輩である歯学部同窓会様が設立40周年を迎えられた大変記念すべき年でした。8月31日(土)に開催された大学創立50周年記念講演会には、当日の悪天候のために残念ながら出席できませんでしたが、10月19日(土)に開催された歯学部同窓会設立40周年記念式典・記念祝賀会には出席させていただくことができ、改めて同窓会活動とは大学内外の関係者だけではなく、様々な方たちとの一つ一つのつながりの結実なのだと実感したところです。現在、当同窓会の会員は約3,200名を数え、全国各地の保健・医療・福祉・教育をはじめとした様々な現場で活躍しています。今、同窓会として協議していることは、卒業した後も当同窓の同級生や先生たちと最近の状況や思いなどを双方向でやり取りができる場、誰でも戻って来られる場を将来に残していくための作戦です。社会や時代の移り変わりとともに、人と人とのつながり方やその望み形は大きく変わりましたが、私たちがいつも誰かの支えを必要と

〈創立年:1997年 会員数:約3,200名〉

し、また同時に、誰かを支えられる希少な存在であることに変わりはないと感じています。一人一人の存在が、どこかにいる誰かの心の支えや何かのきっかけになると思っています。同窓会活動は卒業生たちによる卒業生たちや私たちをこの世界に送り出してくれた先生、そして学び舎をつないでいく活動として、私たちの誰かの日々の挑戦や悩み、思いが、誰かにとってのモチベーションや支えになるように、そして、北海道医療大学で過ごした学生生活を思い出し、大学と自身とのつながりを振り返る機会を通じて新たなつながりをつくる、これが、これからの大学の発展につながるのではと考えています。

私たち卒業生一人一人の活躍が大学の今後の益々発展につながることを願い、私たち同窓会はその仕組みを考え続けていきたいと思っています。それが同窓会として、卒業生として、先生や大学にできる恩返しであり、また、私たちがつながりあえる「糸」なのだと思うところです。

令和9年に控える同窓会設立30周年の一つの節目として目標を達成できるよう、同窓会活動の目的や意義を確かめ合いながら活動していきたいと考えております。これからもどうぞご協力をよろしくお願い致します。

■ <https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~kango/> ■ kango@hoku-iryo-u.ac.jp



福祉マネジメント学科
同窓会長
小畑 友希

看護福祉学部／福祉マネジメント学科・札幌医療福祉専門学校／介護福祉学科

平素より福祉・介護同窓会活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。福祉・介護の仕事は人とかわることで成り立ち、人が幸せに生きていくことにかかわる仕事だと思います。そして、それを学んだ仲間同士の集団である同窓会の役割には、つなげる、つなげる活動があります。2024年は魅力あふれる福祉の仕事、小・中・高生に知ってもらふ体験講座に、同窓会としても協力させていただきました。「病院で働く福祉のしごと体験講座」が7月に札幌、9月に室蘭で開催されました。12月のチカホで行われた「医療職体験レジン」でも多くの学生、保護者の方に、見る、乗る、感じる、バリアフリーの世界を体験いただき、医療職について知り、興味をもつきっかけになったのではないかと思います。8月の「大学へいこう〜1日大学生〜」は、社会的養護環境下の児童を対象に、大学の雰囲気を経験する機会を設け、高校や大学への進学を考える動機付けにつながるこ

〈創立年:2000年 会員数:約2,300名〉

を期待する活動に、同窓会としても協力させていただきました。各企画運営には学部生もボランティアで協力し、座学では得られない学びになったということです。また、当別キャンパスを会場に開催された第9回北海道地区高校生介護技術コンテストの競技後、各校の生徒さん同士の交流の場を提供させていただきました。

5月は看護学科同窓会との合同開催の同窓会セミナー、3月には他学部同窓会とのコラボ講演の企画運営にも継続して関わらせてもらっています。今後も、人と人、人と福祉、人と学をつなげる、つなげることに微力ながら尽力してまいりたいと思います。皆様ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

■ <https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~fukudo/> ■ fukudo@hoku-iryo-u.ac.jp



臨床心理学科
同窓会長
上河邊 力

心理科学部／臨床心理学科

同窓会では、本年度も同窓会セミナーの開催や在学生向け進路相談会、新入生歓迎会の開催を継続実施しています。昨年度に引き続き、同窓会セミナーに関してはオンラインと対面によるハイブリッドとし、全2回のセミナーに100名以上の方がご参加くださいました。コロナ禍にオンラインでの研修に慣れていた方が多いせいか、昨年は対面での参加者が少ない傾向にありましたが、今年度は対面での参加者もコロナ禍以前の水準に近いところまで回復してきました。同窓会セミナーの後は親睦会も開催し、同窓生同士のつながりも深める機会になりました。毎回、在学生の方も参加してくださり、既に現場で働く先輩方からたくさん質問し、学びを得ている姿も見られます。また、今年度は大学の講義室を貸し切って、対面での新入生歓迎会を開催するという新たな取り組みもありました。新入生、在学生、教職員の皆さんが大勢参加し、心理学にまつわる謎解きにチームで取り組んで

〈創立年:2006年 会員数:約780名〉

親睦を深めたり、食事を楽しんだりしました。新入生の皆さんにも大変好評でしたので、来年度以降も継続して実施していく予定です。入学後、早い段階での大学生活への適応をサポートすることで、同窓会としても休学や退学といったリスクの軽減に貢献できればと考えています。

最後に、当同窓会へ引き続きご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。なお、同窓会公式LINEアカウントへの登録がお済みでない同窓生の方は、この機会に是非ご連絡ください。

■ <https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~p.dousou/>
■ shinri.dousoukai@gmail.com



理学療法学科
同窓会長
白幡 吏矩

リハビリテーション科学部／理学療法学科

平素より理学療法学科同窓会の活動にご理解ご協力くださり、誠にありがとうございます。日頃から活動に対して積極的にご協力頂いている本会役員をはじめ、他学部同窓会の皆様、本学関係者の皆様には改めて御礼申し上げます。

本会は2025年9月に、設立から9年目を迎えます。本会開設時より開催している同窓会セミナーを今年度は3回開催し、市民公開講座として開催された第19回セミナーでは290名を超える申し込みがあり、大変好評をいただきました。また、卒業生や理学療法学科教員の皆様に協力いただき、学術支援事業、臨床の悩みに相談会、有志による勉強会、日本理学療法士協会の卒後研修制度への支援、卒業研究発表会への賞の提供など、卒業生ならびに在学生の日々の活動を後押しすべく、新たな事業を打ち出して参りました。最近では、本会の活動を通して生まれた縦の繋がりをを感じるエピソードが届くようにな

〈創立年:2017年 会員数:456名〉

り、本会の活動に少しずつ手ごたえを感じております。

一方で、ライフスタイルの変化などにより、これまで長きにわたり本会を支えてきてくださった役員の退任を経験するようになり、新たなメンバーで安定して活動を継続するための体制作りを進めております。2026年、設立10年の節目に向け、本会会員、今後迎える新たな卒業生たちの卒業後のサポート体制をさらに充実させていくとともに、ささやかながら10周年の節目を会員の皆様と共有する場を準備していく予定です。

引き続き後援会の皆様をはじめ、他学部同窓会の皆様にご指導を頂きながら、本学の発展、本会会員のさらなる活躍の一助となるべく活動して参ります。

■ <https://iryoudaipt.web.fc2.com/> ■ iryoudaipt@gmail.com



作業療法学科
同窓会長

田丸 仁啓

リハビリテーション科学部／作業療法学科

作業療法学科同窓会は、2025年度で開設より9年目を迎えます。設立初年度より顧問である作業療法学科近藤里美教授、他学部同窓会役員の皆様には多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

現在は約280名の同窓会員で活動しており、今後も毎年30～40名増とまだまだ少ない会員数の期間が続きます。少人数という特徴を活かして密に連携をとりながら、当同窓会が同窓生、在学教員、在学生のつながる場としてあり続け、発展していくことを願っております。昨年11月にはアジア太平洋作業療学会(APOTC)、日本作業療学会が札幌で開催され、沢山の同窓生が参加/発表されていました。同窓生の人数も増え、対外的な場で顔を合わせられることに喜びを感じると同時に、各所で活躍されている同窓生を誇りに

感じる良い機会となりました。是非今後もそのような同窓生が一人でも増えることを期待し微力ながら支援して参りたいと考えております。

また、当同窓会には2026年度には節目の設立10年目を迎えます。他学科も含めた周年式典等も検討しており、同窓生の皆さんとお祝いできれば存じます。

最後に北海道医療大学後援会の皆様、各同窓会役員の皆様のご理解、ご協力の下に当会の運営が成り立っていますことに深く御礼申し上げます。

■ <https://ot40-jp.webnode.jp/>
■ hokuiryodai.ot@gmail.com



言語聴覚療法学科
同窓会長

石黒 恵美子

心理科学部・リハビリテーション科学部／言語聴覚療法学科・札幌医療福祉専門学校／言語聴覚療法学科・言語聴覚療法専攻学科

当会は札幌医療福祉専門学校の言語聴覚療法学科の第1期卒業生により設立されました。大学の学部としてスタートしてから更に多くの卒業生を迎え、会員数約1,450名の大きな会になっております。講演会の企画・運営と年に2回の会報の発行を通し現役生・卒業生の皆様への情報提供を行ってきました。今後も、同窓会セミナーの開催等を通して、会員の皆様のお役に立てるよう活動を予定しています。

他学部同窓会と毎年3月に合同開催している講演会「口から食べられる理想に向かって」は今年で第18弾となりました。言語聴覚療法学科の同窓会で始まった講演会のテーマでしたが、歯学部をはじめ多くの同窓会役員の皆様と歩みを共にするようになり、長く続く

講演会となりました。このような横の繋がりを活かしての活動は、北海道医療大学ならではの特長かと存じます。道内外の様々な先生方を講師にお迎えし、毎年多くの皆様より好評をいただいております。これも同窓会の運営に関し、日頃より後援会の皆様・内外の先生方のご理解・ご協力をいただいているおかげです。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

今後も、同窓会会員の皆様はもちろんのこと、地域の皆様、大学の発展のためにお役に立てるよう、役員一同努力して参ります。

■ st-kai@hoku-iryo-u.ac.jp



臨床検査学科
同窓会長

古高 裕導

医療技術学部／臨床検査学科

平素より医療技術学部同窓会の活動にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。医療技術学部では昨年の春、2期生が北海道医療大学を卒業し、1期生・2期生ともに北海道を中心とした各地で活躍しております。そして今年の春、3期生が臨床検査技師として新たに社会へ羽ばたくことをとても嬉しく思っております。

本会は2025年4月に設立から3年目を迎えます。今年度は卒業教育支援の一環として、細胞検査士資格取得にむけた勉強会やオンラインセミナーを開催してきました。また、実際の試験を想定した病理標本の鏡検やスクリーニング検査の模擬練習を、札幌あいの里キャンパスで開催しました。来年度はさらに同窓生の要望に応え、エコー検査初心者

を対象としたミニレクチャーや、本学にあるファントムなどの実機を用いたハンズオンセミナーを企画・予定しております。その他にも認定資格取得へ向けた勉強会や、最新の臨床検査をテーマとしたセミナーなど、より充実した学べる環境を整備し、北海道医療大学からより良い臨床検査を広げていけるよう活動して参ります。また、来年度には1期生から3期生合同で同窓会総会、ならびに懇親会を開催する準備を進めております。

本会はまだまだ発展途中の同窓会ですが、3期生の皆さんが加わることでより活発な会にして行けることを楽しみにしています。今後ともご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

北海道医療大学同窓会支部等連絡先

■薬学部

支部名	支部長(期)
札幌支部	多田 正人(4)
道北支部	沼野 達行(10)
十勝支部	石原 敦(3)
道南支部	吉田 元(12)
釧路支部	羽田 貴志(11)
オホーツク支部	森谷 俊憲(13)
日胆支部	寺口 元(6)
青森支部	三上 章(1)
栃木支部	豊住 暢臣(17)
茨城支部	青木 邦子(4)
北越支部*	杉本 雅規(3)
神奈川県支部	肥後 保仁(7)
東海支部	高尾 信彦(2)
関西支部	山口 和俊(9)
中四国支部	黒長 正明(9)
九州支部	山田 昌人(3)
沖縄支部	村田 成夫(4)

*北越支部 支部長代理

■歯学部

支部名	支部長(期)	連絡先
北海道支部連合会	佐藤 明理(4)	医療法人社団明雄会そのま歯科 ☎011-387-8811
青森県支部	佐藤 孝治(2)	佐藤歯科医院 ☎0172-36-0412
岩手県支部	高野 玄(18)	高野歯科クリニック ☎0197-23-2488
宮城県支部	郷家 道彦(10)	郷家第二歯科医院 ☎022-223-3306
秋田県支部	石川 承平(14)	いしかわ歯科・矯正歯科 ☎018-887-3988
山形県支部	芳賀 俊和(5)	芳賀歯科医院 ☎0238-84-8107
福島県支部	外島 昭夫(7)	ホワイト歯科医院 ☎024-875-3232
茨城県支部	秦 博文(2)	社会医療法人愛宣会 ひたち医療センター・歯科 ☎0294-37-0713
栃木県支部	篠原 澄人(6)	しのはら歯科クリニック ☎0282-82-6656
群馬県支部		
埼玉県支部	青木 聡(7)	あおき歯科医院 ☎049-256-2220
千葉県支部	寺山 功(4)	葉山歯科医院 ☎0471-64-6480
東京都支部	姥名 勝之(5)	エビナ歯科医院 ☎03-3200-4818

■看護福祉学部

☎0133-23-1211

- 看護学科(内線:3641) 担当:明野(実践基礎看護学講座)
- 福祉マネジメント学科(内線:3708) 担当:池森(介護福祉学講座)

■心理科学部・リハビリテーション科学部

☎0133-23-1211 (学務部 心理科学課・リハビリテーション科学課)

- 臨床心理学科 ○作業療法学科
- 理学療法学科 ○言語聴覚療法学科



歯科衛生士専門学校
同窓会長

梶 美奈子

歯学部附属歯科衛生士専門学校

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本同窓会の運営に対し、ご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。1991年に既卒者を中心に結成され、ほんの僅かの人数で同窓会がどのようなものか?どんなことをするのか?全くわからぬままスタートした本同窓会も30年の時を重ね会員数は1,300名を超える大所帯となりました。30年を超えて会を無事運営継続できたのも会員の皆様やご家族の皆様のご協力と日々会の運営のために努力を惜しまない理事や代表者、皆様のおかげであると感謝しております。

1948年に修業年限1年制で始まった歯科衛生士の教育年限が2012年度以降64年の時を経て3年以上となりました。時代と共に求められるものが増えて「歯科衛生士」という職業そのものが広く皆様に知られてきたと感じております。歯科医院にいるお姉さん、看護師さん(?)という認識ではなくなったように思います。

〈創立年:1991年 正会員数:約1,340名、準会員:19名、特別会員:8名〉

歯科衛生士はあらゆるライフステージに関わり、あらゆる状況に対応できるようになりました。う蝕(ムシバ)や歯周病はもちろんのこと、口腔癌、インプラント、摂食嚥下、訪問歯科診療などあらゆる場面で患者さんのQOLの向上のために必要な職種となったのです。

また歯科衛生士は臨床の場のみでなく教育、研究、企業など幅広い範囲で活躍しています。これもひとえに常に社会のニーズに応え教育を行い、その移り変わりをしなやかに受け止め続けてきた先人たちの努力の賜物であると感謝しております。

2025年春には新しい教育を受け、新しい考えを有する皆様が卒業されます。そんな素敵な皆様をはじめ会員の皆様にとって、より有益な同窓会であるように努力いたします。

■ <https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~katakuri/> ■ okahashi@hoku-iryo-u.ac.jp

歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会支部連絡先

北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 ☎0133-23-1211 (内線:3482) 担当:大山・岡橋

卒業生を対象とした各セミナー・
公開講座に関するお問い合わせ先

学術交流推進部 地域連携課 ☎0133-23-1129 (直通) E-mail: nice@hoku-iryo-u.ac.jp